



「AMOS.CO」 簡単操作ガイド
バージョン0.6.0

目次

1. 専用アプリ「amos.co」で出来ること
2. T-SENSORと接続するために
3. アプリのダウンロード
4. アプリの仕様について（初期接続・表示画面）
5. 2つのモード接続について（APモードとSTモード）
6. 機能の紹介（温度・画像取得・アラート監視）
7. アプリ使用の注意点



1.T-SENSOR専用アプリ「amos.co」で出来ること

はじめに

T-SENSORを操作をするには専用アプリ「amos.co」のダウンロードが必要です。
T-SENSOR (T-1000J) には4つの機能が搭載されています。



画像を取得する

ダクトの中を監視する際、**撮影ボタン**を押し画像取得します。



温度を取得する

ダクト内の温度を**自動**で取得します。



アラート監視をする

ダクト内の温度が設定温度を超えた際、**アラート画面・警報音**を鳴らします。
また**登録メール**にアラート発生情報を流します。



監視モードは2種類から選択

Bluetooth 環境内で通信をする「**APモード**」
 Wi-Fi 環境内で通信をする「**STモード**」の2種類を選択できます。



2.T-SENSORとの接続するために

ダウンロードができる端末

T-SENSORの操作には携帯端末・タブレット端末が必要となります。お客様にてご準備をお願いいたします。
T-SENSOR監視専用のタブレット端末をご用意いただくことを推奨いたします。



iOS版	iPhone	iOS 14.0以降が必要です。
	iPadOS	14.0以降が必要です。



Android版	Android	10.0以降が必要です。
----------	---------	--------------



PCでの操作は出来ませんのでご注意ください。



常時温度管理・アラート監視を行うお客様には
アプリ専用端末を1台ご用意いただくことをおすすめします

- ①アプリは立ち上げている状態時のみ機能が稼働しています。
- ②アプリの立ち上げ時は端末がスリープ状態になることはありません。継続した管理が可能です。

次の場合監視は出来ません



- ・スリープ状態
- ・別のアプリを使用
- ・アプリを閉じる

3.アプリのダウンロード



T-SENSOR本体箱の中に「QUICK START GUIDE」カードが入っています。
 ストア検索もしくはQRコードを読み取ってダウンロードください。
 利用規約を一読いただき「同意する」ボタンで進んでください。
 カードに記載の初期パスワードを入力しロック解除を行ってください。

ロック解除後 **設定⇒登録情報変更**にてパスワードが変更できます。

【管理者】名称・会社名等
自由入力です



①



②



③



④



TOP画面



4.アプリの仕様について

初期接続

アプリのダウンロードが完了しましたら T-SENSOR本体の電源を入れてください。
 アプリに機器が表示されます。※T-SENSORをアプリ上では機器と以後ご説明いたします

「機器情報取得」ボタンを押してください

アプリに機器が表示されただけでは通信は出来ません。
 必ず「**機器情報取得**」ボタンを押し、使用するT-SENSORの情報を端末に認識させてください。
 認識させるとAPモードでの通信が始まります。

機器名称はT-SENSOR本体のシリアルナンバーで識別表示されます

T-SENSOR本体の名称変更は出来ません。



TOP画面

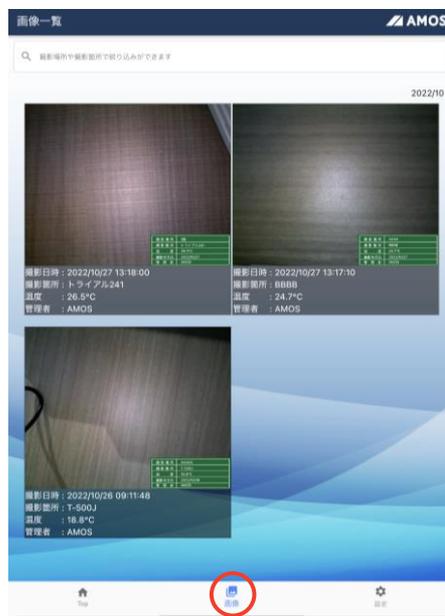
表示画面

アプリには3種類の画面があります。
T-SENSORの基本操作は主に「TOP画面」で行います。



TOP画面

T-SENSORとの初期設定
アラート温度設定
遠隔操作
その他画面表示設定



画像一覧

撮影された画像の確認



設定画面

初期パスワードの変更
アラートメール通知設定

5.2つのモード接続について

APモードとSTモード

T-SENSORとアプリは Bluetooth 環境内での接続使用か Wi-Fi 環境設定での使用の2種類から選択が可能です。

TOP画面の「機器一覧」に現在のモードが表示されます

Bluetooth 環境内で通信することを「**APモード**」
 Wi-Fi 環境内で通信することを「**STモード**」



APモード

- ◎ルーターやアクセスポイント等の周辺機器の設置不要
- ◎設定が必要にないので、すぐに、簡単に使用ができる

STモード

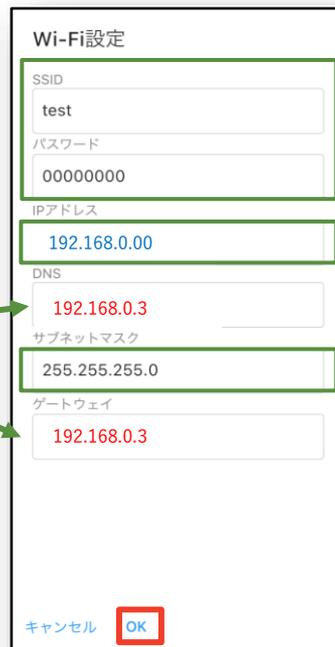
- ◎アクセスポイントに接続することにより、広範囲での監視が可能となる
- ◎画像取得がAPモードよりも早い

STモードへの切替

T-SENSORを接続するアクセスポイントにタブレット端末を先に接続してください。



C. DNSとサブネットマスクは
②で確認したルーター
アドレスを入力します



A. 接続したいアクセスポイントの機器の
SSIDとパスワード（暗号化キー）を
入力します
※2.4GHzを選択してください。

B. 下3ケタはT-SENSORに割り当てる
固有の数値を入力します

D. DNSとサブネットマスクは②で確認した
ルーターアドレスを入力します

①タブレット端末のWi-Fi 詳細画面よりルーターのアドレスを確認してください。



②アプリに戻り、STモードにしたい端末を選択、
モード設定より、「●STモード切替」を選択し必要箇所を入力してください。

接続完了 表示が「ST」に切替わります。

※接続が失敗すると1分後に再度入力画面に戻ります。



6. アプリの機能紹介

🌡️ 温度取得

ダクト内の温度管理

温度は自動で取得します。

TOP画面に現在のダクト内温度とグラフが表示されます。

温度は30秒毎に取得しています、グラフは10分間隔での最高温度のみを表示しています。

2年分までグラフで確認ができます。

0℃～70℃まで測定可能です



グラフ保存の間隔	(毎)
1日	10分
1週間	1時間
1か月	3時間
1年	3時間
2年	12時間

📷 画像取得

ダクト内部の監視

画像は撮影ボタンを押して画像取得を行います。

撮影ボタンを押すとT-SENSORの先端パイプ部分より格納されたカメラが稼働し、撮影を行います。撮影された画像はアプリフォルダと端末のカメラロールに同時に保存されます。



画像には電子小黒板が付きます。画像の改ざんが出来ない様、改ざん検知機能を搭載した、信頼性のある画像が保存されます。



撮影ボタン



TOP画面

火災を検知・予防するための機能です。

ダクト内異常をいち早くキャッチ

ダクト内の温度が設定温度を超えた際、アラート画面・警報音で素早くお知らせします。
TOP画面の機器設定⇒「アラート温度設定」にて設定ください。

設定可能温度：50℃～70℃（デフォルト値は70℃となっています）

・アラート監視中は「機器一覧」に **監視中** と赤く表示されます。※OFFにすることも可能です

※常時アラート発生状況の確認が必要なため、アプリを立ち上げている状態でご利用ください。

✉ **メールアドレスにアラート情報を発信する事も可能**

APモード
端末がインターネットに繋がっている

STMモード
ルーターでインターネット環境にある場合

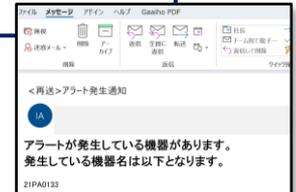
ダクト内の温度異常を感知すると、画面は赤表示に切替わり、警報音でお知らせします。



①アラート発生画面の「確認する」ボタンを押します。ボタンを押すまで警報音は鳴り続けます。



②ダクト内温度がアラート設定温度以下に下がった事を確認し、「アラート解除」ボタンを押す。⇒通常画面に戻ります



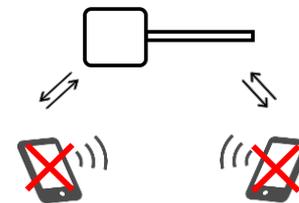
アプリ使用の注意点

1台のT-SENSORを複数のタブレットで接続はしないでください！



接続が不安定になります

複数台の端末でT-SENSORを繋ぐと、お互いに干渉し合う為接続不良が起きます。
※画像取得・機器の詳細設定・モード切替に不具合が生じます



タブレット間の情報共有はできません

- 複数台繋いだ場合、あるタブレットで取得した画像は、他のタブレットでは情報反映されません。（※共有できるCLOUD機能はありません）
- 機器の設定を変えた場合にも他のタブレットには自動で反映されません。

